

スプリングロードカップ開催に向けた感染拡大予防ガイドライン

令和4年6月1日
スプリングロードカップ実行委員会

1 はじめに

令和4年5月25日に公表された第85回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードで示された専門家の考え方を参考にガイドラインを作成し、自主的な感染防止のための取組みます。

本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることに御留意をお願いします。

※参考資料 「第85回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00348.html

※本ガイドラインは、今後の各地域の感染状況を踏まえて随時見直しますのでご了承ください。

■クラスターが発生しないオフロードイベントとして

1. 必要に応じて入場者の制限や誘導する。
2. こまめな手洗い及びマスクの着用推奨とする。
3. 本部施設内の定期的な換気を行う。
4. 人と人との距離を適切にとる(できるだけ2mを目安に(最低1m)確保するよう努める)。
5. できるだけ大声での会話を控える。
6. 基本的な健康チェック(体温管理、渡航管理等)を自己管理のもと徹底する。
7. すべての参加者への注意喚起をする。

■参加者への注意喚起

参加者への注意喚起をホームページ・施設内掲示・書面配布等で行う。

■マスクの着用について

1. マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要と考えます。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がると考えます。
2. スプリングロードカップは、
 - ・ 広大な敷地での野外イベントである事。
 - ・ 人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合が多い事。
 - ・ 距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合も多い事。

以上から新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードを参考に、さらには夏場の野外イベントで熱中症予防の観点から、基本的にはマスクを着用する必要はないと考えますが、イベント中はマスク着用推奨とします。

(1) 症状のある方等の参加及び来場制限

当イベントでは新型コロナウイルス感染拡大を防止し、皆様の安全を確保するため、下記に該当する方全ての参加をお断りさせていただきます。

1. 37.5 度以上の発熱や風邪の症状がある方。
2. 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある方。
3. 咳、痰、胸部不快感のある方。
4. 嗅覚・味覚に異常を感じる方。
5. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
6. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
7. 過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある方。
8. その他新型コロナウイルス感染可能な症状がある方。

(2) 施設内衛生確保・感染防止対策の実施案

1. 入場時に全ての参加者に健康状態(1)の1～8に関するに該当するかを確認する。
2. 同乗者がある場合は運転手の責任の下、同乗者すべての健康状態を把握してもらう。
3. 本部施設のドアや窓を開け、十分な換気を行う。
4. マスク着用は推奨としますが、熱中症予防の観点から必ずしもマスクの着用は必要ないとする。
5. 共有する物品（手がよく触れるところ）を定期的に消毒する。
6. 人と人との距離をできるだけ2m以上（最低1m）を目安に確保すること。
7. パドック内では荷物を置く場所も2m以上（最低1m）を目安に距離を確保すること。
8. 大会関係者を含む全ての参加者が会場内で宿泊する場合は、個別のテントや車中等で行い、集団で宿泊しないこと。
9. 人と人との距離をできるだけ2m以上（最低1m）を目安に確保することと、距離が確保できず会話をする場合はマスク着用を推奨する。
10. 不特定多数が触れる環境表面や備品等は、市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて必要に応じて清掃する。

(3) 競技に関する特別な規則及び対策実施案

1. 熱中症予防の観点から競技参加者が競技中には必ずしもマスクの着用は必要ないとする。
2. 大声で指示する場合は、人と人との距離をできるだけ2m以上（最低1m）を目安に確保すること。
3. ハイタッチ・握手等人と人が接触することを禁止する。
4. 開会式、閉会式では人が集まらなくても良い対策を講じる。
5. 万が一、健康状態が悪くなり参加出来なかった場合のエントリーフィーは、返金対応する。

(4) その他の対策及び対応

1. ゴミの処理は各自で持ち帰ること。
2. スタッフがゴミの片づけや処理を行う際は使い捨ての手袋を使用すること。
3. 感染者が発生したことが判明した場合は、即時に保健所へ報告し、求められる情報の速やかな開示を行う。
4. 保健所の指示に従った上で速やかに参加者へ周知する。
5. 関連者リストの提出を求められた場合に備え、個人情報の取扱いに留意しながら、来場者名簿等を整備・管理する。
6. すべての参加者は万が一に備え、個人の行動や接触者を記録しておくこと。

以上がスプリングロードカップ実行委員会が設定する新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインですが、最新の情報を常に入手して、関係省庁、地方自治体の発表する要請、対策案に準じてイベント開催に対する対策を的確に講じて行くものとします。